

グラフは個人オンライン調査、具体的な声は個人オンライン調査及び意見募集の結果より。
個人オンライン調査の回答者数は、全体2,166名（男性1,057名、女性1,105名、その他4名）。30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略。

家庭（炊事・洗濯・掃除等）

困りごとの具体的な声

洗濯・掃除の負担

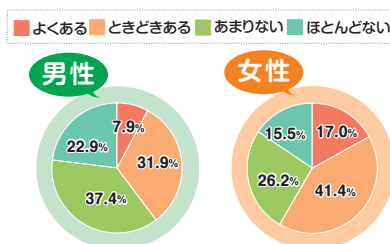
- 仕事と育児で掃除まで手が回らない。掃除機は子供が寝ているときにはかけられない。

炊事の負担

- 離乳食の手作り神話をやめてほしい。

家事代行サービス

- 家事代行サービスは高額で日常的には使えない。



高崎市「広報高崎 2019 年（令和元年）5 月 15 日号」より



東京都大田区「大田区産後家事・育児援助事業チラシ」より



大分県「おおいた子育てほっとクーポン（令和3年度発行）」より



鎌倉市「広報かまくら 令和4年1月号」より

01 子育てヘルパー派遣

保護者の精神的・肉体的負担の軽減を図る目的で、妊娠期や就学前児童のいる家庭へヘルパーを派遣し（自治体が任意団体に委託）、乳児のおむつ交換、食事の準備や後片付け、衣類の洗濯、居室の掃除及び整理整頓、育児相談等のサービスを提供している。自治体により異なるが、低額でサービスを受けることができる。

02 子育て支援サービス利用時の割引券、クーポン等

産前産後や乳幼児期など、自治体等が指定した子育て支援サービス（家事援助や育児支援、就学前の子供の一時預かり等）を受ける際に利用できる。承認を受けた企業が従業員に配布できる「内閣府ベビーシッター割引券」もある。

03 産後家庭への配食サービス

産後の一定期間に、栄養士の献立等に基づくバランスの取れた食事を指定の配食事業者が配達し、同時に、声かけを通じて産後の見守りを行うサービス。自治体によってはチケットや利用券が発行され、補助が受けられる。

その他行事等

困りごとの具体的な声

父親の疎外感

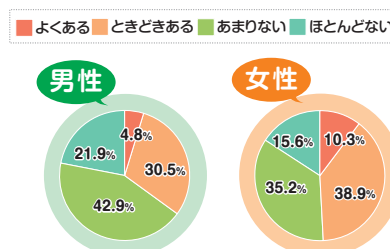
- 健診日が平日であったり、専業主婦が家庭にすることが前提で、父親の参加が想定されていない。
- お便りの宛先が「お母さんへ」となっている等、父親の育児参加を求める割に、世の中の仕組みや制度、慣習が旧態依然のまま。

乳幼児健診・予防接種の手続き

- オンラインで手続きできるようにしてほしい。

子育て世帯へのサポート

- コロナ禍で育児中の母親は孤独を感じる。オンライン相談窓口やイベントの充実を図ってほしい。



松阪市「まつさか子育てアプリ【まつプリ】配信中！」より



山形県高島町「ふあみりー学級（両親学級・祖父母学級）」より



福島市「オンラインプレママ＆プレパパ教室を開催します！」より



母子衛生研究会「オンライン母子保健相談室」より



山梨県「産前産後ケア事業」より

01 アプリによる予防接種、母子手帳

子育て支援情報アプリを通じて、子育て情報の提供、健康診断の記録、予防接種のスケジュール管理、相談窓口の紹介等のサービスが提供されている。自治体で導入が進んでいるが、民間事業者が運営しているアプリもある。

02 父親・祖父母向け子育て学級

家族で子育てを楽しむために、子育てに必要なマインドやスキル、知識を学ぶことを目的とした講座。連続して開催されることが多く、父親や共働き家庭でも参加できるように土日や平日夜間、オンライン等、自治体によりさまざまな形で展開されている。

03 オンラインの相談窓口等

オンラインでのチャットによる健康相談、授乳や離乳食、お風呂等の子育ての悩みについての相談が可能。地域に関わらず全国からアクセス可能で、子育て中の保護者が気軽に相互交流でき、悩みや不安を相談できる場を提供している事業者もある。

04 産前産後のケア

産後の回復や育児に不安がある方へのサポートとして、お母さんの体調管理や授乳・沐浴等の育児指導、健康相談等を受けることができる。専門家による訪問型のほか、自治体によっては医療機関等に通うデイサービスや宿泊できるものがある。

内閣府委託調査研究「令和3年度 仕事と生活の調和推進のための調査研究」

仕事と子育て等を両立する上での 困りごとを調査しました

仕事と子育て等の両立を阻害したり、父親の育児参画を阻む身近な慣行等について、6つの場面での困りごととして調査したところ、

- 困りごとの有無をたずねた個人オンライン調査では、困りごとが「ある（よくある、ときどきあるの合計）」と回答した割合は、「習い事・課外教室等」を除く全ての場面で約4～5割でした。
- 具体的な困りごとをたずねた意見募集で、困りごとの記入があった割合を分野ごとにみると、「幼稚園・保育園・認定こども園等」（89.8%）が最も高く、次いで「地域・外出先」（84.5%）でした。



困りごとの有無を詳しく見ると

個人オンライン調査（回答2,166名）

	よくある	ときどきある	あまりない	ほとんどない	(%)
幼稚園・保育園・認定こども園等	12.2	34.7	31.7	21.4	
小学校・学童保育等	12.3	31.9	31.4	24.4	
習い事・課外教室等	6.7	23.8	34.3	35.2	
地域・外出先	10.7	41.8	33.5	14.0	
家庭（炊事・洗濯・掃除等）	12.5	36.7	31.6	19.2	
その他行事等	7.6	34.7	39.0	18.7	

意見募集（回答5,640名）

	ある（記入あり）	ない（記入なし）	(%)
幼稚園・保育園・認定こども園等	89.8	10.2	
小学校・学童保育等	49.9	50.1	
習い事・課外教室等	48.6	51.4	
地域・外出先	84.5	15.5	
家庭（炊事・洗濯・掃除等）	77.3	22.7	
その他行事等	60.4	39.6	

こうした困りごとを乗り越えるため、全国では様々な取組を行っています。
困りごとの「具体的な声」や「取組事例」を次ページよりご紹介します。

調査結果の詳細は報告書をご覧ください。 <https://www.cao.go.jp/wlb/research.html>



男女がともに活躍できる社会へ



〒100-8914 東京都千代田区永田町 1-6-1 電話番号 03-5253-2111（大代表）

グラフは個人オンライン調査、具体的な声は個人オンライン調査及び意見募集の結果より。
個人オンライン調査の回答者数は、全体2,166名（男性1,057名、女性1,105名、その他4名）。30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略。

幼稚園・保育園・認定こども園等

困りごとの具体的な声

入園申込等の手続き

- 入園申込時、入園時、入園後で似たような内容を何度も手書きで書く。
- 年度替わりに、出生時体重や予防接種履歴等、毎年変わらない情報を手書きしており、勤務先記入欄もあるため会社にも負担をかけている。

園と保護者の連絡手段

- 園からのお知らせが紙であるため、長期間休むと一切受け取れない。
- 欠席、遅刻などの連絡方法が電話のみ。

その他

- 遠い保育所にしか入れなかったため送迎が大変。
- 保育所によって延長保育の時間が異なるため、前もって復帰後の勤務計画をたてるのが難しい。

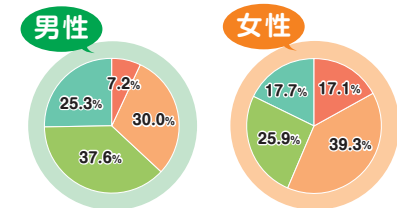
持ち物の準備・記名

- おむつやビニール袋まで、一つ一つ記名を求められる。
- 使用済みおむつの持ち帰り。
- 毎週布団の持ち帰りがあり、雨の日などは対応できない。

行事等の日程調整・参加について

- 行事が基本的に平日で仕事をしていると参加できない。
- 保護者会等の役員は母親が前提となっている風潮がある。

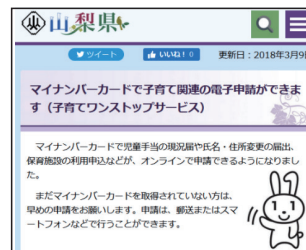
よくある ときどきある あまりない ほとんどない



困りごとへの取組事例

01 オンライン申請手続き マイナポータル「子育てワンストップサービス」(デジタル庁)

マイナンバーカードを保有している子育て世帯は、保育園の入園申込や児童手当の利用申請等の書類作成、申請がオンラインで可能。全国の市区町村1,565団体で手続きの検索・比較や一部様式の印刷まで可能。子育てに関する手続きの電子申請は、970団体で実施済み。(令和2年9月30日時点)



山梨県「マイナンバーカードで子育て関連の電子申請ができます(子育てワンストップサービス)」より

02 登降園管理や保護者連絡のICT化

スマホアプリやICカード(電子マネーカード等)、タブレット端末、見守り機器等の導入による登降園管理や電子連絡帳での帳票管理、園児情報や成長記録の管理のほか、欠席・延長連絡やお便りの配信等が展開されている。

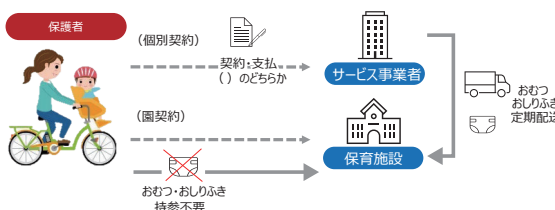


登降園時には、先生が保護者出迎え、カードをタッチ! 預かり保育の利用データを一括管理!

埼玉県「園務改善のためのICT化事例集」より

03 おむつのサブスクリプションサービス

おむつとおしりふきを直接、保育園に届けるサービス。月額定額料金のものが多く、サイズ変更可能、使い放題が基本。契約や支払いは、事業者が園と契約し園が保護者から集金する、または事業者と保護者が直接個別契約を結び支払う等の方法がある。



サービス事業者資料より作成

04 おむつの園内処分

委託業者が巡回しておむつを回収・処分している。処分費用の確保も課題であり、施設と保護者どちらかが負担する場合のほか自治体が公費負担している場合もある。



画像：東京都武蔵野市提供

05 送迎保育ステーション

児童が日中在籍する保育所や幼稚園等に登園するまでの間、降園してから保護者が迎えに来るまでの間に預かる保育施設で、保護者の送迎はステーションまで、子供たちはステーションから専用の送迎バスで登降園する。利用料や送迎先は自治体により異なる。



画像：松戸市提供

画像：町田市提供

小学校・学童保育等

困りごとの具体的な声

持ち物の準備・記名

- 持ち物の一つ一つに記名を求められる。
- 制服など学校指定衣料は高額で何着も持てないので、帰宅してから洗って翌日には乾かさなければならぬ。

学校と保護者の連絡手段

- 学校からのお知らせが紙であるため、紛失の恐れがあったり、保管が面倒。夫婦での共有もしにくい。
- 電話で欠席連絡をすることになっているが、学校から「朝の電話が多すぎて業務に差し支える」とお便りがきた。それならメールかSNSで済ませられるようにしてほしい。

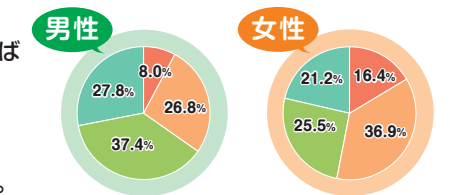
PTA・保護者会の負担

- PTAや保護者会が平日に対面で開催されるため参加できない。
- PTAの出席や役員となることが半ば強制的。

見守り当番の負担

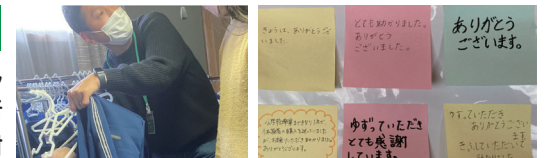
- 通学時に親の付き添いを求められることがあるが、GPSで到着の無事を確認できるようにしてほしい。

よくある ときどきある あまりない ほとんどない



01 制服のリユース

子供が着用しなくなった制服や体操服を、サービス事業者が引き取り、必要としている方に販売もしくは無償で提供するリユースの仕組み。在学者・在学予定者であることを確認するために学生証の提示等、提供者と購入者が安心できる対策を講じている。



画像：NPO 法人ミンナのチカラ提供

02 GPS端末等による見守り

保護者及び学校による登下校時の児童の安全確認を目的に、寝屋川市の事例では、市から小学1・2年生へGPS端末を無償で貸し出し、パソコンやスマートフォンで児童の位置情報を保護者が確認できるシステムとしている。システムは自治体で異なる。



画像：寝屋川市提供

困りごとの具体的な声

トイレ・公園・公共施設等

- 公共施設、商業施設において、男性用トイレにおむつ替え台やベビーチェアがない。ベビールームに男性が入れない。子供用トイレや子供と一緒に入れるトイレの数が少ない。
- おむつ替え台やベビーチェアの設置は義務化してほしい。
- 子供向けのメニューが少ない、離乳食の持ち込みを認めているレストランが少ない。

子供を連れての移動

- エレベーターの数が少なく、ベビーカーでの移動が困難。
- ベビーカーでは満員のエレベーターや電車に乗れず、何回も見送ることが多々ある。

その他

- 母親は子供会、父親は自治会と性別で役割が決められてしまう。

困りごとへの取組事例

01 子育て支援パスポート事業(内閣府)

地方自治体が地域の企業・店舗に働きかけ、協賛を得た企業・店舗において子育て世帯への各種割引・優待サービス等を提供する。地方自治体では子育て世帯へパスポートを発行し、利用者は店頭で提示することでサービスを受けられる。全国で実施されている。

02 おむつ交換台・授乳室等のマップ「赤ちゃんの駅」

おむつ替えや授乳等を気軽に行える場所を「赤ちゃんの駅」として指定して提供。乳幼児親子が利用しやすい公共機関や民間施設等に対して、自治体が協力を依頼して登録を行っている。場所により、ステッカーやのぼりが掲示されている。



全国共通
内閣府
「子育て支援パスポート事業」より



画像：千葉市提供
北九州市「シンボルマークの共通使用について(他自治体のご担当者様へ)」より